

令和4年度 公表基準に基づく医療事故等の包括公表

1 レベル別集計 ※1

レベル分類	患者影響度	医療センター	八幡病院
		報告件数 (件)	
0	行為には至らなかった	136	275
1	一般的な検査を要したが影響がなかった	942	834
2	精密検査を要したが影響がなかった	138	80
3の1	軽微な処置・治療を要したが治癒	161	137
3の2	濃厚な処置・治療を要したが治癒	20	26
4の1	寛解・軽度の障害が残った	2	2
4の2	重大な障害が残った	0	0
5	死亡	1※2	0
合計		1,400	1,354

※1 過失の有無にかかわらず、全事例報告することとしています。

※2 死亡は原病の進行によるもので、処置時の対応に問題はなく無過失です。

2 分類別集計

種別	医療センター		八幡病院	
	報告件数(件)	事故割合(%)	報告件数(件)	事故割合(%)
与薬	376	26.9	226	16.7
転倒・転落	299	21.4	167	12.3
チューブ・ライン類	256	18.3	237	17.5
調剤・製剤管理	29	2.1	92	6.8
検査	62	4.4	131	9.7
食事	50	3.6	35	2.6
処置・処方	60	4.3	54	4.0
採血	25	1.8	35	2.6
手術	32	2.3	49	3.6
その他	211	15.1	328	24.2
合計	1,400	100	1,354	100

3 医療安全向上のための主な業務改善

種別	項目	病院内で工夫された改善例
与薬	薬品管理、救急カート誤薬防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 販売名が類似した薬剤の注意喚起リーフレットの作成 管理統一に向けた配置薬（内服・注射薬）の改定 注射準備確認作業の標準化マニュアルの作成
転倒・転落	防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 月1回のラウンドの実施及び対応シートの改訂 点滴スタンドを車椅子に固定し、車椅子搬送を安全にする製品の導入 事務スタッフに対する車椅子の取り扱い、移乗方法などシミュレーション研修の実施
チューブ・ライン類	誤接続防止	<ul style="list-style-type: none"> カテゴリー、用途別カラーシリンジの統一 カラーテープを用いたチューブ、ラインの識別実施
検査	情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> パニック値報告体制の見直し
採血	採血時の事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 採血時の合併症についてのポスター掲示 合併症が発生した時のフローの作成及び周知
その他	医療機器管理	<ul style="list-style-type: none"> 輸液ポンプ、シリンジポンプの安全点検日常点検表の作成 人工呼吸器安全点検表の改定及びテンプレート化 生体監視モニター値の上下限設定統一、マニュアルの作成
その他	急変対応	<ul style="list-style-type: none"> RRS（院内迅速対応システム）によるRRT（院内急変対応チーム）活動の開始 院内全職員に対して急変対応シミュレーション研修の実施 AED設置場所の周知